

# 令和7年度 意見交換会事例集

令和8年3月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

# 目 次

本事例集の趣旨	…… 1
意見交換会の種類(例)	…… 1
意見交換会の開催の流れ(例)	…… 2
令和7年度の意見交換会(まとめ)	…… 3
令和7年度の意見交換会(個別事例)	…… 5

## 本事例集の趣旨

本事例集は、本協議会が今年度開催した意見交換会の状況を取りまとめたもので、今後の意見交換会開催の参考とすることを目的として作成しています。

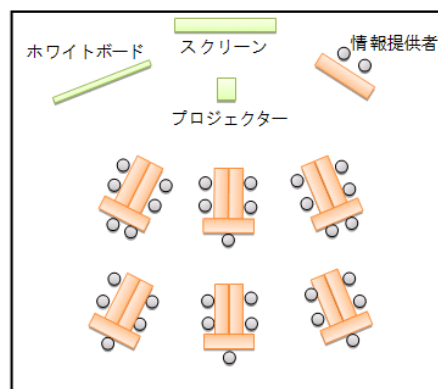
## 意見交換会の種類（例）

### 1 ワークショップ形式

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。  
 (各グループに討議の進行役(ファシリテーター)を配置することが望ましい)

【プログラム例（所要時間：3時間30分）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



〈会場配置例〉

※アイスブレイク

氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

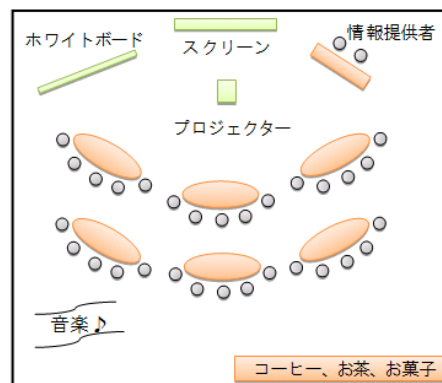
### 2 サイエンスカフェ及びセミナー形式

気軽な雰囲気の中で、専門家などがなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は質問カードなどを用いて質問や意見を自由に出し、情報提供者・参加者間で相互に意見交換しながら、知識や視野を広げる。

※参加者が茶菓を喫食しながら行うものをサイエンスカフェ、茶菓の提供を行わないものをセミナー方式とする

【プログラム例（所要時間：2時間）】

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



〈サイエンスカフェ会場配置例〉

## 意見交換会の開催の流れ（例）

### ◆事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。  
 （ ・ 開催希望日の概ね2か月前までに提出すること。  
 ・ 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。）
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。  
 （参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。  
 （ワークショップの場合は、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行い、ファシリテーターを設置する場合は、選定する。）

### ◆開催当日

- 1 開始1時間～15分前から会場設営を開始する。  
 （参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 概ね開始30分前から参加者の受付を開始する。  
 （ ・ ファシリテーターを設置する場合、打ち合わせを実施する。  
 ・ サイエンスカフェ方式の場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。）

### ◆準備品について

開催当日に、必要に応じて以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
<input type="checkbox"/> パソコン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	
<input type="checkbox"/> 延長コード	1	
<input type="checkbox"/> マイク	2	開催希望団体
<input type="checkbox"/> ホワイトボード	1	
<input type="checkbox"/> 配布資料	参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体
<input type="checkbox"/> ワークショップの場合		
模造紙	グループ数+ $\alpha$	生活衛生課もしくは開催希望団体
カラーマジック	グループ数+ $\alpha$	
大判ポストイット	グループ数+ $\alpha$	
セロテープ	グループ数+ $\alpha$	
サインペン	参加人数分	
<input type="checkbox"/> サイエンスカフェの場合		
茶菓	参加人数分	開催希望団体
質問用紙	参加人数分×3枚程度	生活衛生課もしくは開催希望団体
サインペン	参加人数分	
セロテープ	1	

## 令和7年度の意見交換会（まとめ）

### ＜令和7年度の開催結果＞

意見交換会の開催回数	71回
参加人数	2,407人

### ＜意見交換会一覧＞

No	形式	開催日	報告団体	参加人数
1, 2	セミナー	R7. 5. 19	山口県立大学	24
		R7. 10. 16		15
3		R7. 8. 7	山口県市長会	25
4		R7. 8. 21	山口県農山漁村女性連携会議	33
5～8		R7. 9. 17	食の安心モニター	47
		R7. 10. 17		43
		R7. 10. 22		12
		R7. 10. 23		40
9		R7. 10. 24	山口県連合婦人会	80
10		R7. 11. 6	山口県生活協同組合連合会	86
11, 12		R8. 3. 5	山口県地域消費者団体連絡協議会	120
		R8. 3. 6		
13～47		講習会	R7. 5. 22	山口県食生活改善推進協議会
48	R7. 10. 3		(一社) 山口県食品衛生協会	17
49	講演会	R7. 11. 11	(一社) 山口県食品衛生協会	61
50	講義・実習等	R7. 5. 29	山口県教育委員会	34
51, 52		R7. 9. 7	(公社) 山口県栄養士会	25
				53
53	R7. 10. 26	(一社) 山口県調理師団体連合会	10	

54	講義・実習等	R8. 1. 16	生活協同組合コープやまぐち	4
55		—	山口県地域消費者団体連絡協議会	4 0
56～64	体験学習	R7. 7. 1～ 11. 13	(公社)山口県畜産振興協会	6 6 7
65		R7. 11. 9	山口県PTA 連合会	1 7
66, 67	施設見学	R7. 12. 10	山口県生活衛生課	5
		R7. 12. 16		2 0
68	協議・会議	R7. 8. 1	中国四国農政局 山口県拠点	1 2
69, 70		R7. 9. 1～ R8. 2. 27	山口県教育委員会	5 0
		R7. 12. 11		1 8
71	研修会	R7. 6. 23	(一財)山口県保育協会	1 9

## 意見交換会事例

No. 1、2

行事名	大学祭の模擬店における食品衛生管理を学ぶ研修
形式	セミナー
開催日時	①令和7年5月19日 ②令和7年10月16日
場所	山口県立大学
報告団体 (主催団体)	山口県立大学 (山口県立大学学生自治会、大学祭実行委員会)
活動内容	①6月開催の「水無月祭」に向けた食の安心・安全お届け講座 ②11月開催の「華月祭」に向けた食の安心・安全お届け講座
参加人数	①24人 ②15人

No. 3

行事名	親子で学ぼう！食品衛生教室～牛乳編～
形式	セミナー
開催日時	令和7年8月7日
場所	やまぐち県酪乳業株式会社
報告団体 (主催団体)	山口県市長会 (下関保健所、下関市食品衛生協会)
活動内容	<p>8月の食品衛生月間に小学生を対象とした親子食品衛生教室を開催した。今年度は牛乳編と題し、やまぐち県酪乳業株式会社に協力を依頼した。会場もやまぐち県酪乳業株式会社としたことで、牛乳やヨーグルトがどのように生産されるか、工場見学や工場説明を通して、分かりやすく子ども達に伝えることができた。また、牛乳飲み比べやバターづくり体験は大変盛り上がり、子ども達にも保護者にも好評であった。</p> <p>保健所が行った手洗実習や手洗いクイズでは、手洗いの大切さについて楽しみながら十分理解してもらえた。</p>
参加人数	25人

行事名	令和7年度やまぐち農山漁村女性起業交流・研修会
形式	セミナー
開催日時	令和7年8月21日
場所	セントコア山口
報告団体 (主催・共催団体)	山口県農山漁村女性連携会議 (主催：やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク、共催：山口県)
活動内容	山口県農山漁村女性連携会議の構成団体の一つである「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」と県との共催により、農山漁村女性起業家及び起業グループ等を対象に交流・研修会を開催した。 〈内 容〉 1 講話 「起業活動への『こころざし』を未来へ繋ぐために」 ライフスタイル協同組合 代表理事 船崎美智子 氏 2 ワークショップ 「ここいいね！」をシェアし販売トークに活用しよう
参加人数	33人

行事名	校外食育体験ツアー（小学生）
形式	セミナー、見学
開催日時	令和7年 ①9月17日、②10月17日、 ③10月22日、④10月23日
場所	①マックスバリュ防府店 ②マックスバリュ山田店 ③マックスバリュ恩田店 ④マックスバリュ宮田町店
報告団体 (主催団体)	食の安心モニター（ファイブアディ協会）
活動内容	・各店内見学 食の安心・安全対策を学ぶ ・小学生のお買い物体験 ・食育講座
参加人数	①小学生43人、教員4人 ②小学生39人、教員4人 ③小学生9人、教員3人 ④小学生36人、教員4人

No. 9

行事名	食品表示セミナー
形式	セミナー
開催日時	令和7年10月24日
場所	萩市旭活性化センター
報告団体 (主催団体)	山口県連合婦人会（萩佐々並婦人会）
活動内容	消費者庁から講師を招き、食品表示（特に加工食品の原料原産地表示制度）について、理解を深めた。
参加人数	80人

No. 10

行事名	役職員研修会～日本の農業危機を学ぶ
形式	現地&webによるセミナー
開催日時	令和7年11月6日
場所	生活協同組合コープやまぐち本部
報告団体	山口県生活協同組合連合会
活動内容	昨年来の米騒動にて日本の農業問題は、くらしの重大な課題であることを再認識。日本農業新聞の論説委員長の鈴木祐子氏をお招きし、「日本の農業危機と食糧・農業・農村基本法～生協への期待」と題した研修会を実施、生産者と消費者双方の視点からの現状認識、生協が果たせる役割について考える機会にしました。
参加人数	86人

No. 11, 12

行事名	災害時に備えた食品備蓄
形式	セミナー
開催日時	①令和8年3月5日 ②令和8年3月6日
場所	①山口市、山陽小野田市 ②光市
報告団体	山口県地域消費者団体連絡協議会
活動内容	巡回講座 改めて備蓄するのではなく、日常の消費の中で心掛けることの大切さを知る。 中国四国農政局派遣講師
参加人数	各会場40人 計120人（予定）

行事名	外食・中食を利用した食からの健康作り
形式	講演会
開催日時	令和7年7月～令和8年2月末
場所	県内各市町（上関町を除く）
報告団体 （主催団体）	山口県食生活改善推進協議会（山口県）
活動内容	<p>各市町協議会が、「やまぐち健康経営認定企業」を訪問し、外食・中食を利用したの、バランスのよい食事のとり方の講習会を開催しました。食品成分表示の見方、賞味・消費期限の確認し無駄のない消費と環境、身体にも良い健康づくりに取り組んでいます。試食提供は、当日調理・当日配布を基本にしています。</p> <p>働く世代 23箇所 406人 小中学生親子 12箇所 424人</p>
参加人数	830人

行事名	1. 手洗いマイスター認定講習会
形式	講演会
開催日時	令和7年10月3日（金）
報告団体	（一社）山口県食品衛生協会
活動内容	<p>手洗いの意義や科学的根拠に基づく手洗いの手順、手洗い場周辺の環境整備の必要性について、食品衛生指導員活動を通じて、食品取扱者に普及啓発することで食中毒の未然防止を図る目的で講習会を開催。</p> <p>所定のカリキュラムを修了した者に対し、「手洗いマイスター」の称号を付与し、地域における手洗い指導の中核をなす人材を育成。</p> <p>内容 手洗い指導の理論、手洗いの実践、 マイスター認定テスト、認定証交付</p>
参加人数	17人

行事名	山口県食品衛生推進大会
形式	講演会
開催日時	令和7年11月11日
場所	山口県総合保健会館1階 健康指導室
報告団体	一般社団法人山口県食品衛生協会
活動内容	<p>新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類感染症に位置づけられ、落ち着きを見せる中、以前のように社会活動が活発になると、食中毒発生件数も増加し、中でもノロウイルスによる食中毒は冬季に集中して発生し、件数も増加し始めている。</p> <p>そこで、多発シーズンを迎える前に食品業者と消費者の参加のもとに「ノロウイルス食中毒を中心とした感染予防対策」をテーマに、外部講師を招いて講演会を行い参加者の理解を深めた。</p>
参加人数	61人

行事名	学校給食衛生管理指導者講習会
形式	講義・実習
開催日時	令和7年5月29日
場所	山口県学校給食会
報告団体 (共催団体)	山口県教育委員会 ((公財) 山口県学校給食会)
活動内容	<p>1 趣旨 衛生管理の指導的立場にある、市町教育委員会、公立学校の学校給食関係者、栄養教諭・学校栄養職員等を対象として、食中毒防止対策等の必要な知識及び実務的な対策方法を習得させ、衛生管理に関する指導力向上を図ることを目的とする。</p> <p>2 研修内容 (1) 講義「学校給食における衛生管理について」 講師：山口県教育庁学校安全・体育課 指導主事 (2) 講義「事例から学ぶ衛生管理について」 講師：山口県環境生活部生活衛生課 主任技師 (3) 講義・実習「衛生管理の基礎知識 知っておくべきポイント」 講師：(一社) 山口県薬剤師会 薬剤師</p>
参加人数	34人

行事名	①災害対策研修会 ②訪問介護員対象「嚥下調整食応用」セミナー
形式	講義・実習等
開催日時	令和7年9月7日
場所	山口県総合保健会館 栄養指導室
報告団体 (共催団体)	山口県栄養士会 (②山口県長寿社会課、山口県訪問介護事業所連絡協議会)
活動内容	<p>①目的：災害時誰一人取り残さない食の支援として、避難所の炊き出し訓練と、避難所における高齢者の食事介助について実技を学ぶ</p> <p>調理実習：「実践！ある食材でわいわいクッキング」 備蓄食材や支援物資の活用の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4チームに分かれ、渡された食材を用いて献立作成し、限られた調理道具や食器で安全に炊き出しを行う。</li> </ul> <p>講師：東亜大学 准教授 中川初美先生</p> <p>講義演習：「災害時における避難所での口腔ケア・嚥下食作成・食事介助」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚥下障害や食事介助が必要な高齢者に安全な食事の選択と食事介助技術</li> </ul> <p>講師：合同会社訪問栄養ステーション 管理栄養士 高橋瑞保先生</p> <p>②目的：嚥下機能低下による低栄養を予防するため、嚥下機能別嚥下調整食を安全に調理できるよう訪問介護員を対象に講演と調理実習を県下3カ所で実施</p> <p>講義「家庭での食卓を豊かに」 ～一週間の嚥下調整食レシピを参考に嚥下調整食として安全な組み合わせ方法にみ合わせ方法～</p> <p>講師：宇部フロンティア大学短期大学部 田辺 のぶか 指導：山口県栄養士会 会員</p>
参加人数	①25人 ②北浦：19名、防府：17名、下松：17名 計53名

行事名	ものづくりフェスタ
形式	講義・実習等
開催日時	令和7年10月26日
場所	きらら浜
報告団体 (主催・共催団体)	(一社) 山口県調理師団体連合会 (主催：山口県 共催：日本調理技能士会)
活動内容	ものづくりフェスタにおいて「だし巻きたまご」の実技指導
参加人数	4人

行事名	萩子育てひろば
形式	講義・実習等
開催日時	令和8年1月16日
場所	コープやまぐち 萩センター集会室
報告団体 (主催団体)	生活協同組合コープやまぐち (食のかたりべ)
活動内容	<p>コープ商品や食の安全に関する基本的な考え方を、組合員の立場で判りやすく説明します。以下のメニューについて学習します。</p> <p>①宅配カタログ商品の上手な選び方を知ろう ②産直商品、地産知食について ③食品添加物について ④食品表示について</p> <p>その他 今回は食品表示のアレルギー表示について資料を使って、食物アレルギーと、その表示について、実際に米粉パンなどの試食をしながら学習会をおこないました。 各地域で少人数ですが同様の学習会を2025年度は13回行っています。</p>
参加人数	4人

行事名	エシカル消費啓発講座
形式	ワークショップ形式、グループ討議
開催日時	希望される日時
場所	希望される市民館
報告団体	山口県地域消費者団体連絡協議会
活動内容	エシカル消費ってなあに？消費は選択、使う責任 身の回りで取り組む、そしてSDGsにつながる ワークショップ形式で進行
参加人数	40人

次のページへ続く

行事名	やまぐち畜産ふれあい体験学習													
形式	体験学習													
開催日時	令和7年7月1日 ～ 11月13日													
場所	小学校9校													
報告団体 (共催団体)	(公社) 山口県畜産振興協会 (酪農乳業協会、開催校)													
活動内容	<p>畜産や畜産物に対する理解・普及啓発を図るため、小学校で「子牛とのふれあい」や「搾乳の模擬体験」、「手づくりバター作り」等に加え、酪農家から牛の飼い方、牛乳を搾るまでの管理について説明を受けた。</p> <p>牛の心音を聴診器で聴いた児童は、音の大きさに驚いたり、自作のバターが美味しかったとの感想、給食では牛乳をしっかり飲みますという決意表明もあり、食べ物をいただくことのありがたさを実感した様子</p> <p>参考</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7校</td> <td>438名</td> <td>5年度</td> <td>9校</td> <td>598名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6年度</td> <td>9校</td> <td>819名</td> <td>7年度</td> <td>9校</td> <td>667名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工体験 手作りバターを作って食べてみる</li> <li>・酪農家の出前授業 牛の体や餌の話、牛乳を搾る時に大事なこと</li> <li>・搾乳体験 模擬乳房を使ったゲームを通して乳しぼりを体験</li> <li>・牛とのふれあい 聴診器で牛の心音を聞いてみる</li> </ul>	令和4年度	7校	438名	5年度	9校	598名		6年度	9校	819名	7年度	9校	667名
令和4年度	7校	438名	5年度	9校	598名									
	6年度	9校	819名	7年度	9校	667名								
参加人数	667人													

行事名	子育て親育て研修会
形式	体験学習
開催日時	令和7年11月9日
場所	宮野地域交流センター
報告団体	山口県PTA連合会
活動内容	山口県養鶏協会に後援いただき、山口県立大学准教授 園田純子先生を講師にお招きして親子料理教室を行う。
参加人数	17人

行事名	食の安心コミュニティ活動リーダー・食の安心モニター合同研修会
形式	施設見学
開催日時	①令和7年12月10日 ②令和7年12月17日
場所	①あさひ製菓株式会社 ②有限会社田原屋 本店
報告団体	山口県生活衛生課
活動内容	<p>目的 食の安心コミュニティ活動リーダー及び食の安心モニターの活動の推進に資するため、食品関連事業者との意見交換を通じて食の安心・安全に向けた取組についての理解を深める。</p> <p>内容 食品関連事業者から、食の安心・安全に向けた取組について講義を受けた後、工場ラインや食品製造過程等を見学させていただいた。その後、質疑応答を行い、より深い知識を得ることができた。</p>
参加人数	①5人 ②20人

行事名	令和7年度山口県食品表示監視協議会
形式	協議・会議
開催日時	令和7年8月1日
場所	山口地方合同庁舎1号館1階 第2共用会議室
報告団体	中国四国農政局（事務局）
活動内容	<p>年1回の開催を基本とし、構成員からの報告及び意見交換を行い構成員が所管する法律等の相互理解を深め、連携強化を図っている。</p> <p>○「山口県食品表示監視協議会」発足経緯</p> <p>平成19年度より、食肉等の偽装表示事案の発覚を契機に同種事案が全国的に相次いで問題化し、食品の表示に対する国民の信頼が大きく損なわれていることを踏まえ、平成19年11月6日、警察庁生活安全局生活環境課と農林水産省消費・安全局表示・規格課及び畜水産安全管理課との間で連携の強化について合意しました。</p> <p>このことから、山口県においても、県警察本部、県関係各課（室）及び山口農政事務所が協議の結果、「山口県食品表示監視協議会」を平成19年12月20日に発足し、平成20年度からは下関市立下関保健所及び独立行政法人農林水産消費安全技術センター福岡センター門司事務所、平成21年12月から山口県消費生活センター、平成23年5月から萩市総合政策部市民活動推進課、平成23年9月から中国四国農政局山口地域センター米流通監視チームが参加して、食品の表示、牛及び米トレーサビリティ制度に係る相互理解を深め、連携を強化するために必要な意見交換を令和6年度まで行ってきたところです。</p> <p>令和7年度に消費・安全業務が本局に移管されたことに伴い、中国四国農政局（事務局）が主体となって、山口県食品表示監視協議会を開催しています。</p> <p>○構成員</p> <p>農林水産省 中国四国農政局 消費・安全部 米穀流通・食品表示監視課 山口県 環境生活部 県民生活課 消費生活センター 山口県 環境生活部 生活衛生課 山口県 農林水産部 ぶちうまやまぐち推進課 山口県 警察本部 生活安全部 生活安全捜査課 下関市 保健部 下関市立下関保健所 生活衛生課 萩市 市民部 市民活動推進課 消費生活センター 独立行政法人 農林水産消費安全技術センター福岡センター 表示指導課</p>
参加人数	12人

行事名	学校給食の衛生管理等に関する調査研究—指導者派遣— (文部科学省委嘱事業)
形式	協議・会議
開催日時	令和7年9月1日～令和8年2月27日
場所	山口市立大内南小学校、宇部市学校給食センター、 美祢市学校給食センター、山陽小野田市学校給食センター、 山口県立山口総合支援学校、山口県立下関総合支援学校
報告団体	山口県教育委員会
活動内容	<p>1 目的</p> <p>文部科学省委嘱事業により、「学校給食衛生管理基準」等の趣旨の徹底を図るため、都道府県教育委員会の指導主事、退職栄養教諭・学校栄養職員等を衛生管理に関する指導者として学校給食施設へ派遣し、同基準施行後の状況調査を行うとともに、衛生管理の徹底を図るための改善指導を行うことを目的として実施する。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 給食調理実施状況立会調査 (関係書類、調理作業等の確認を含む)</p> <p>(2) 学校給食の試食</p> <p>(3) 市町教育委員会及び各施設担当者との協議</p>
参加人数	50人

行事名	学校におけるアレルギー疾患対応委員会
形式	協議・会議
開催日時	令和7年12月11日 14:00～15:30
場所	山口県庁
報告団体	山口県教育委員会
活動内容	<p>1 目的 アレルギーを有する児童生徒が、安全かつ安心して学校生活を送ることができるよう、学校におけるアレルギー疾患対応体制の充実及び事故防止に寄与することを目的とする。</p> <p>2 協議内容</p> <p>(1) 緊急時対応事案について</p> <p>(2) ヒヤリハット事例について</p> <p>(3) 関係各所へのフィードバックについて</p> <p>(4) 学校におけるアレルギー対応の実践事例について</p>
参加人数	18人

行事名	第1回 給食委員会
形式	研修会
開催日時	令和7年6月23日
場所	山口県社会福祉会館 第4会議室
報告団体 (主催・団体)	(一財) 山口県保育協会 (一財) 山口県保育協会 給食委員会
活動内容	衛生研修会 ホシザキ中国 木戸 光荣 氏 保育施設・学校向け 衛生研修会
参加人数	19人